

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額によっている。なお、償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいため適用していない。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…定率法によっている。

無形固定資産…定額法によっている。

リース資産…所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づいて計上している。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	622,400	0	0	622,400
投資有価証券	415,677,600	0	0	415,677,600
小 計	416,300,000	0	0	416,300,000
特定資産				
退職給付引当資産	53,457,712	13,729,596	0	67,187,308
減価償却引当資産	142,105,981	4,839,853	11,996,323	134,949,511
試験器具購入積立資産	52,095,000	0	0	52,095,000
小 計	247,658,693	18,569,449	11,996,323	254,231,819
合 計	663,958,693	18,569,449	11,996,323	670,531,819

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	622,400	532,400	90,000	
投資有価証券	415,677,600	315,767,600	99,910,000	—
小 計	416,300,000	316,300,000	100,000,000	—
特定資産				
退職給付引当資産	67,187,308	—	—	67,187,308
減価償却引当資産	134,949,511	—	134,949,511	—
試験器具購入積立資産	52,095,000	—	52,095,000	—
小 計	254,231,819	—	187,044,511	67,187,308
合 計	670,531,819	316,300,000	287,044,511	67,187,308

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	45,481,325	31,031,156	14,450,169
什器備品	106,459,168	97,787,355	8,671,813
合 計	151,940,493	128,818,511	23,121,982

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
千葉県公募公債			
平成17年度第2回	39,928,000	40,575,960	647,960
平成22年度第3回	29,997,000	30,135,000	138,000
平成22年度第3回	9,999,000	10,045,000	46,000
平成22年度第3回	9,999,000	10,045,000	46,000
平成23年度第3回	19,994,000	20,121,720	127,720
平成23年度第8回	219,890,000	221,268,520	1,378,520
平成24年度第5回	99,910,000	101,855,600	1,945,600
平成24年度第5回	55,949,600	57,039,136	1,089,536
合 計	485,666,600	491,085,936	5,419,336